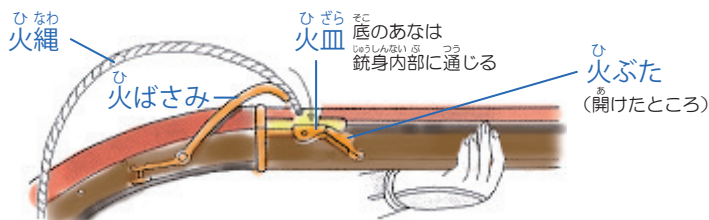
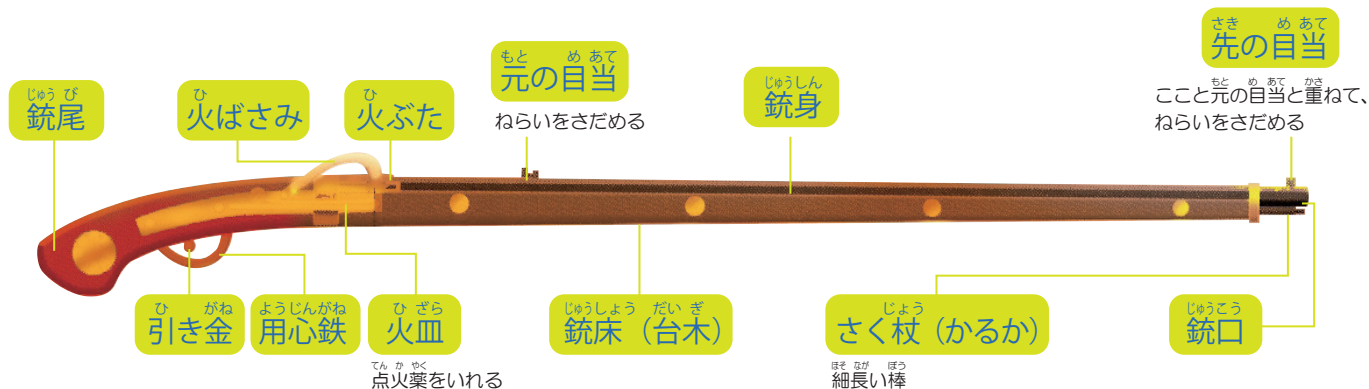


てっ ぼう でん らい
鉄砲伝来てっ ぼう でん らい
鉄砲伝来

天文12年(1543年)8月26日、鹿児島県の種子島に一艘の船が漂着しました。その船には鉄砲を持ったポルトガル人が乗っていました。彼らから鉄砲を買い入れた領主の種子島時義は、鍛冶屋の八板金兵衛に同じものをつくらせました。その後、優れた鍛冶師のいる堺や近江の国友でも鉄砲はつくられるようになりました。そして、またたく間に日本各地にひろまり、戦国大名はこぞって鉄砲を買い入れました。鉄砲は、火縄の火で点火させて使われたことから、火縄銃とも呼ばれました。

ひ なわ じゅう ぶ ぶん めい しょう
火縄銃の部分名称

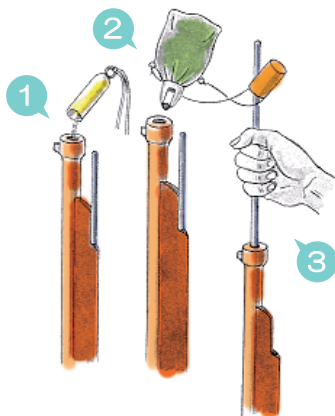
- 1 火縄銃は鉄で作られた銃身と、銃身をのせた銃床(台木)によって構成されています。銃身の先(銃口)から火薬と弾丸を入れます。
- 2 火薬はしょう石75、イオウ10、木炭15(全体を100とすると)の割合で作られました。しょう石はほとんど中国からの輸入でした。鉄砲の(弾丸)玉は、鉛の丸い玉がほとんどでした。火縄は麻や木綿、竹などが使われました。



火縄銃は銃身約1メートル、重さ約4キロで、直径約1センチの鉛の玉を使うものが多い。有効射程距離は約100メートル。

ひなわじゅう うかた 火縄銃の打ち方

1 銃口から火薬(胴薬)をつめる。

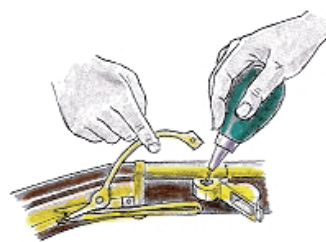


2 銃口から弾丸(玉)をつめる。
※火薬と弾丸がセットになっている
「早合」を使うと1と2が同時にできる。

3 「さく杖」という細長い棒を銃口から
さしこみ、火薬と弾丸をおさえこむ。

4

火ぶたをひらき、火皿に点火薬(口薬)
をもる。火皿には穴が開いていて、銃身
の中までつながっている。



5

火ぶたをとじて、火ばさみをおこし、
火のついた火縄のはしをはさむ。



6

打つ前に火ぶたをあけて、引き金
を引くと、火ばさみが落ち、火縄
の火が火薬(口薬)に点火する。
この火はさらに、銃身の中の火薬
に点火、爆発し、その勢いで弾丸
を発射させる。



てんじしつ ひなわじゅう み 展示室で火縄銃をじっくり見てみよう!

☒ 見たらチェックしてね

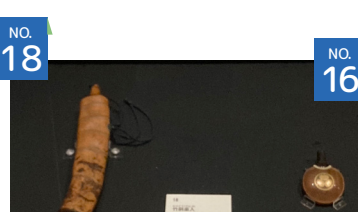
NO. 8



☐ 銃口

火薬と弾丸は銃
口から入れます。

NO. 18

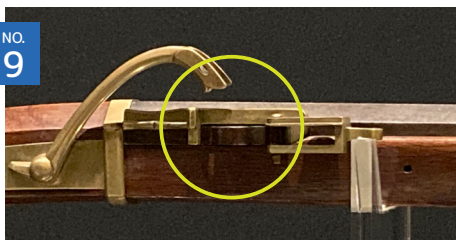


NO. 16

☐ 薬入

☐ 口薬入

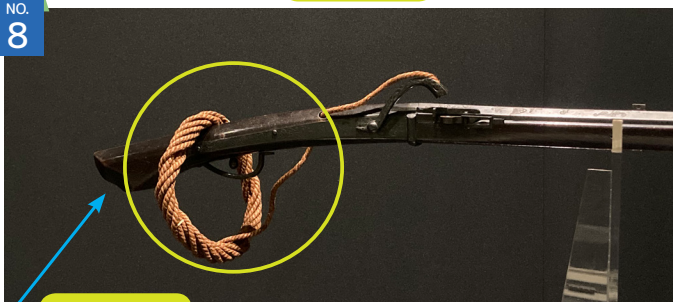
NO. 9



☐ 火皿

点火薬(口薬)を火皿に
入れます。

NO. 8



☐ 火縄

問題 この火縄の材料はなに?

木綿や竹、木を紐にした縄に硝石を染み込ませ、
ゆっくりと火が燃えるように作ります。1本の火縄
は2mくらいの長さで数時間、火がついています。
湿気や雨に弱いのが火縄の難点です。



徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 TEL052-935-6262
<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>